



こんにちは、谷本公園の指定管理者「緑とコミュニティーグループ」です。

夏季は草の成長が早く、昆虫の活動も活発なのでなかなかビオトープの再生に向けた活動ができませんでした。

そこで、今回は今年の夏にビオトープ周辺で見られた昆虫と、現在みられる秋の植物の一部を紹介します。

~夏の虫~



ミンミンゼミ



コムスジ



ヤブキリ



チョウセンカマキリ

夏になると昆虫が活発になり、少し歩くだけでもいろいろな昆虫に出会えます。職員が何度か園内の様子を見に回ったときにも、今年の夏だけで30種類以上の昆虫を見ることができました。

夏の風物詩であるセミや、いろいろな柄で楽しませてくれるチョウ、草むらから飛び出してくるバッタやそれらを食べるカマキリなど、いろいろな昆虫が見られました。

今年はもう涼しくなりましたが、まだバッタやコオロギなどはビオトープの草むらにいます。もう少し寒くなったら落ち葉の下に隠れている昆虫もいるので、興味のある方は探してみてもいかがでしょうか。

~秋の植物~



ガマズミ



キンエノコロ

紅葉にはまだ少し時間がかかりそうですが、秋の装いになってきている植物もあります。

ビオトープの隅にある「ガマズミ」は、鮮やかな赤い実をつけています。園内各所に生えている「猫じゃらし」の名称で親しまれている「エノコログサ」ですが、中には毛が金色の「キンエノコロ」などの変わり種もいます。探してみてもいかがでしょうか。

ブログはじめました！

谷本公園のイベントや自然情報を掲載する公園ブログを始めました。

ブログの他、公園で見られる動植物の紹介ページもあるので、ぜひご覧ください！

QRコードを読み込んで、谷本公園ブログ
(<https://yamotopark.wixsite.com/mysite>) へGO!

